

# 1100万人のアンダークラス その解消に向けた政治の責任とは

2020年新春講演会

2018年平均の（役員を除く）雇用者は5596万人。そのうち、非正規の職員・従業員は2120万人と、前年比84万人増加した（『労働力調査』）。2008年比では355万人の増、第2次安倍政権発足前の2012年比でも304万人増だ。

講師の橋本健二氏は独自の集計から、パート主婦と定年後の嘱託等を除く非正規労働者を「アンダークラス」と分類し、その生活状況や意識を解明した（『新・日本の階級社会』講談社現代新書 2018年1月）。次いで『アンダークラス』（ちくま新書 2018年12月）では「失業者・無業者」を「アンダークラスの隣人」として考察対象に含めている。両者を合わせた人数は1100万人を超え、巨大な下層階級を形成するに至っている。

だが、彼ら・彼女らにそそがれる目は必ずしも温かいものばかりではない。そこには強固な「自己責任論」が立ちはだかる。

立憲野党はどのように「アンダークラス」たちと連携していけるのか。2019年の参議院選挙では「れいわ新選組」が解答の一端を用意し、40歳代の就職氷河期世代の共感と呼んだとされる。ご一緒に考えていきたい。

## 講師：橋本健二 早稲田大学教授



【橋本健二先生プロフィール】

- ・1959年石川県生まれ。東京大学教育学部卒。東京大学大学院博士課程修了。
- ・現在、早稲田大学人間科学学術院教授(階級・階層論)
- ・著書：『新・日本の階級社会』（講談社現代新書）『アンダークラス』（ちくま新書）、『「格差」の戦後史』（河出ブックス）、『階級社会』（講談社）、『居酒屋の戦後史』（祥伝社新書）など多数。

■ 日時：2020年 **2月2日**（日）  
13時半～16時（13時開場）

■ 会場：林野会館604会議室（右図参照）  
（所在地）東京都文京区大塚3-28-7  
（電話）03-3945-6871（代）  
地下鉄丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩10分

■ 参加費：500円（先着100名）

